

2018年度 事業報告

1. 全般的概況

公益社団法人としてスタートを切って、丸7年が経ちました。

4月18日公表の内閣府の月例経済報告の基調判断では、－先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。－と、表現を据え置いています。

我がボウリング業界も、まだまだ厳しい状況が続く中に於いても、幾筋かの明るい光が見えてきました。

まず、昨年8月にボウリング業界におけるすべての団体が結集し、新団体「日本ボウリング機構」を立ち上げました。

「国民スポーツNo. 1＝ボウリング」を目的に、ひとつの団体も抜けることなく業界が大同団結したのです。

今年度より、具体的にアクションを起こし始めることとなります。

また、もう一つのトピックは、「KUWATA CUP」の開催です。

ご存じのとおり、ボウリングを愛してやまない桑田 佳祐氏の発案により、今年2月、渋谷ヒカリエ ヒカリエホール・ホールA 特設レーンに於いて、「KUWATA CUP」が開催されたのです。

昨年11月からは、全国の日場協・加盟センターに於いて、ハウスボール・ハウスシューズで参加する一般アマチュア部門・ジュニアアマチュア部門の予選会が2カ月以上にわたり行われ、大変な話題になりました。

私達にはできない方法で、まだボウリングを知らない人々にボウリングに触れてもらう機会を作ってくださった桑田氏には、感謝の言葉しかありません。

しかし、「KUWATA CUP」がマスメディアを巻き込みこれほど大きな話題になった基盤には、私達ボウリング場が、「健康ボウリング教室」でシニア層を掘り起し、「春・夏・冬休みジュニアボウリング教室」等でジュニア層を開拓するなど、これまでの地道な努力があってこそだということを忘れてはいけません。

そして、一センターではできないことを、皆で集まってやるのが我々日場協の役割なのです。皆が一つになれば必ず新しい時代を築いていけるものと信じております。

このような状況のなか、弊協会は昨年度定時総会時に報告の30年度事業計画に示した、次に記載の公益目的事業を中心に積極的に取り組み、相応の成果を挙げることができましたので報告します。

役員一同でさらに努力をしてまいりますので、引き続き会員皆様のご支援ご協力を切によろしくお願い申し上げます。

2. 公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意識を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第52回BPAJ全国ボウリング競技大会」の主催

●主 管 香川県ボウリング場協会

●期 間 平成30年6月2日（土）～3日（日）

●会 場 ・都道府県対抗4人チーム戦予選、各部門決勝戦・表彰式・引継式・閉会式

…………… 太洋ボウル

・都道府県対抗4人チーム戦予選 …………… シーサイドボウル高松

・ダブルス戦予選 …………… MGボウル

・スペシャルオリンピックスの部会場 …………… アミュージアム高松

●参加数 都道府県 4チーム戦 49チーム（196名）

ダブルス戦 66チーム（132名）

合 計 115チーム（328名）

2. 「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

●経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第21回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。

・参加センター 193 …… ・2,715チーム（5,430人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

●今後の見通しについて情報を収集し、「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ方法を検討しました。

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

書籍に関しては、事務局が入居している 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階の一角にコーナーを設け、引き続き運営を行っている。

その他のグッズ等展示品については、27年にスペースをご提供いただき移転したアオキグラウンドボール（埼玉県川口市中青木3-8-17）内に引き続き展示、現在に至っている。

一般の閲覧者及びマスメディア関係者の取材に対応し、それが数々のボウリングの露出に繋がっている。

また、ボウリング史料館に足を運ぶことが出来ない人のために、協会のホームページで

それらをコーナー別に観ることが出来る「ボウリング ミュージアム (Web 史料館)」を開設・運営している。

Ⅲ 児童の健全育成事業 (公益目的事業3)

児童が友達とのコミュニケーションを深め、児童が家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、かつ児童に安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催

「2018年 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁
- 期 間 夏休み期間中：2018年7月15日(日)～9月2日(日)
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③スコアチャレンジの実施
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ (HPにアップ) ・参加賞 (江崎グリコ商品)
- 全国の96センターで開催された。

(2) BPAJ・JPBA共催

「2018年 冬休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 主 管 公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 冬休み期間中：2018年12月22日(土)～2019年1月6日(日)
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールをJPBAより送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ (HPにアップ)
- 全国の26センターで開催された。

(3) BPAJ・JPBA共催「2019年春休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期間 春休み期間中：2013年3月21日（木・祝）～4月7日（日）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ（HPにアップ）
- 全国の 25センターで開催された。

(4) 「2019 JBOジュニアボウリングアカデミー」の展開

全国のボウリング場で「ジュニアボウリング教室」を実施する際、参加するジュニアに対し、的確で且つ安全なコーチングができる指導者を育てるため、公益社団法人日本プロボウリング協会と公益財団法人全日本ボウリング協会の協力によりコーチ用ガイドⅡと3分間DVDを制作し、全国10会場でジュニアコーチングセミナーを展開した。

また、アカデミー開催当日、公益社団法人日本プロボウリング協会 インストラクター委員会及びプロボウラーのご協力をいただき、保護者同伴による「ジュニアボウリング教室」を開催し、愛知・アソビックスびさいでのボウリング教室を収録・編集してホームページに掲載する準備を進めた。

地区	会場	開催日	講習会参加数	ジュニア教室参加数
北海道	ディノスボウル札幌白石	3月24日(土)	10	9
東北	岩手・盛岡スターレーン	3月31日(日)	8	18
関東	埼玉・アイビーボウル越谷	3月28日(木)	17	20
東海	愛知・アソビックスびさい	3月25日(月)	18	39
北陸	富山・富山地鉄ゴールデンボウル	3月16日(土)	5	27
関西	大阪・関大前フタバボウル	3月28日(木)	11	49
中国	広島・広電ボウル	4月6日(土)	5	67
四国	香川・太洋ボウル	3月27日(水)	14	12
九州	佐賀・ボウルアーガス	4月6日(土)	20	30
沖縄	スポーツワールドサザンヒル	3月23日(土)	16	9

2. ジュニア開放レーンの推進

比較的お客様の少ない夕方などの時間帯をジュニア等に開放、及び幼稚園児の体験ボウリングを実施し、子ども達にスポーツの楽しさと安全な時間と場所を提供した。

この指導者として、競技者団体所属のボウラーの皆さんにボランティアで協力をお願いした。

3. 「ミニ・ボウリング機」の普及

当協会が所有するミニ・ボウリングの機器を、当協会加盟のボウリングセンターのみならず、地域が行うチャリティ等の公益目的活動について無償で貸し出しているが、今年度はその実施はされなかった。

4. 「こども110番のボウリング場」の推進

各都道府県単位で地元行政や警察と連携して、「こども110番のボウリング場」を推進している。

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第52回 宮様チャリティーボウリング大会」の主催

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 協 力 社会福祉法人友愛十字会
- 期 間 平成30年11月24日（土）～25（日）
- 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター（東京）
- 参 加 数 男子 210名、女子 93名、
障害者男子 87名、障害者女子 20名 <合計410名>
- 成 績 一般男子 優勝 井口 遼太（東京・笹塚ボウル）
一般女子 優勝 金木 妃登美（静岡・掛川毎日ボウル）
障害者男子優勝 森住 博文（神奈川・相模原パークレーンズ）
障害者女子優勝 中島 深雪（社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会）

2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進

BPAJ NEWSへの総合警備保障株ALSOK「AEDレンタルサービス」の案内記事掲載や、「全国JPBAジュニアボウリング教室」開催時におけるAED設置状況調査など、加盟センターへのAED設置を推進した。

3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し

幼児、高齢者、障害者等の誰でもが簡単にボウリングを通じてスポーツに親しむことができるよう、軽量のピンとボールの「簡易キット」を購入し、無償で提供・貸与する事業を推進している。2018年度のキット購入はなかった。

4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業

- ・メタボリックシンドロームが様々な生活習慣病の要因となっている。この改善には適度な運動が重要であり、ボウリングを通じてメタボリックシンドロームの改善を図るよう啓発活動を行った。
- ・全国の加盟センターで開催をする「健康ボウリング教室」を主催し、国民の健康増進に寄与した。
- ・ボウリング愛好家がボウリングを習慣化・日常化している背景と、それに関わる生活・健康状況を明らかにし、今後の事業に役立たせていくことを目的に、筑波大学田中喜代次名誉教授の監修により、加盟センターのボウリング愛好家にアンケートを実施した。
- ・若者からお年寄りまで幅広い層に人気の「よさこいソーラン」の振り付けを、ボウリング前の準備運動・ストレッチとして使用することが出来るように、専門家の意見を取り入れ、「ボウリングソーラン」の映像を作成。それをDVD化して加盟センターに配布した。
- ・骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰え、運動器の障害のために、要介護になったり、要介護になる危険の高い「ロコモティブシンドローム」を予防するために、ボウリングを通じて、ロコモティブシンドロームの予防を図るよう啓発活動を行った。
株式会社長谷工シニアホールディングスが、長年の経験と運用実践結果を踏まえ、健康寿命を維持するために作り出したサポートメニューのひとつ「ゆうゆう体操」とボウリングとのコラボを推進。2019年3月11日（月）、京都・MKボウル上賀茂において、長谷工シニアグループが運営する、自立型の有料老人ホーム「ライフハウス京都醒ヶ井」の入居者が参加し、「ゆうゆう体操で楽しむボウリング大会」を開催した。
- ・その「ゆうゆう体操」と、個人で出来るロコチェックとロコモ予防運動のデータをディスク化したパッケージを制作し、配布する準備をすすめた。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表

平成8年度より実施している「長寿ボウラー番付」は、日場協の高齢者福祉活動事業の一環として実施されており、その回数も平成30年度で23回目を数えた。

BPAJ・NEWSを通じ全加盟センターよりの報告（男性：80歳以上・3,100名、女性：75歳以上・4,497名の計7,597名、夫婦：合計150歳以上、585組・1,170名）と、更にポスター掲載のキャッチフレーズを募集し、それぞれ多数の応募をいただき発表した。

また、警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、引き続き「ポスター」に「標語」の掲載をした。

- (1) 番付ポスターを制作し、全加盟センターへ男性編・女性編各2枚及び夫婦編2枚を配布した。
- (2) 全国のマス・コミにリリース資料を配布し、長寿ボウラー番付の広報に努めた。
媒体で取り上げられた情報は、各センターより日場協に情報提供された。
「長寿社会化現象」にマッチしたものとして、マスメディアのみならず、あらゆる業界から注目を集め、ボウリングは「健康スポーツ」「生涯スポーツ」「コミュニケーションスポーツ」として、その地位を不動のものとしている。
- (3) 番付に掲載された全「長寿ボウラー」に「番付ポスター」と「認定証」を、また横綱ボウラーには記念品（協賛：新日本製薬株）を、所属の加盟センターを通じ贈呈した。
- (4) 希望者に「公式ユニフォーム」と「公式ワッペン」を有償頒布した。
- (5) 満80歳以上の長寿ボウラーを対象とした、第5回目となる「全国長寿ボウラーボウリング大会オーバー80's・90's」を主催した。

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 会 場 東京ドームボウリングセンター（東京都文京区）
- 開 催 日 平成30年9月10日（月）
- 参 加 者 90歳以上：11名 80歳以上：72名
- 優 勝 者 90歳代の部：瓜生 二十二選手、 80歳代の部：斉川 稔選手

2. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

ボウリングは、高齢者の運動能力を高めることが医学的に証明されており、高齢化社会が急速に進展する現在、スポーツを通じての健康づくりを進めるとともに、予防医学の見地からも高齢者の運動能力向上に高い効果が認められ、国民の最も身近なスポーツであるボウリングを、高齢者に普及させる活動を行った。

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はそのら関係団体が実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディーズボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリックス日本（S. O. 日本）

3. その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

全国ネットのテレビ放送でボウリング競技会等を放映し、広く国民がスポーツを通じてその楽しさを享受し、健康促進及び豊かな人間性の涵養に寄与するようボウリングに関する広報を行った。

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

(1) 江崎グリコ㈱との共同主催により、「ボウリングで家族の絆にストライク！」「をテーマに、「プレゼント・キャンペーン」を全国の加盟センターで実施。

●期間中に家族で来場された小学生以下のお子様にもボウリングピン型「バルーンシューター」をプレゼント（各センター先着100名様）

(2) 日本ボウリング場協会ツイッター「フォロー&ツイートキャンペーン」

●期間中に開設する日本ボウリング場協会ツイッターアカウントのフォローと、ボウリングを楽しむ画像投稿&ツイートを募り、投稿された方の中から抽選で「ボウリング1ゲーム無料券」をプレゼント

(3) 「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日（金）・ボウリングの日に、小学生以下のジュニアを無料対応するキャンペーンについて、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施。

できるだけ多くのセンターで実施していただき、「6. 22はボウリング場に子どもの笑顔が溢れる」ことを目標とした。

4. 管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

新法人として会員体制の変更、会費の低減化及び役員の組織強化努力により、30年度中に加盟率は65%に達し、維持を続けている。

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	29年度期末 (平成30年3月31日)	30年度期末 (平成31年3月31日)
会員企業数	263 社	258 社

区 分	29年度末 (平成30年3月31日)		30年度末 (平成31年3月31日)	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加 盟	505	16,331	495	15,923
未 加 盟 (内付帯施設など)	272 (16)	6,310 (100)	259 (12)	5,978 (84)
合 計	777	22,641	754	21,901
加 盟 率	66.4%	72.5%	66.7%	73.0%

【注】加盟率は、付帯施設（公共施設及び9レーン以下のセンター）を除き算出した。

(2) 平成31年3月31日現在の賛助会員数 … 11社

2. 総会の開催

(1) 「第7回 定時総会」

- 日 時 平成30年6月2日（土）・午前9時～10時45分
- 場 所 高松国際ホテル 新館2F・「瀬戸東の間」
- 議 事 第一号議案 平成29年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について
報 告 平成30年度事業計画書、収支予算書、
資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告について
第二号議案 理事の選任について
◆ 議案は、全て原案どおり可決承認された。

3. 理事会の開催

- (1) 第43回 理事会 平成30年 4月24日（火） 於 日場協内・会議室
- (2) 第44回 “ ” 6月 1日（金） 於 高松国際ホテル・本館2階「寿の間」

池田 恵子	関 東	栃 木	東洋商事(株) (代表取締役)
武田 竜	関 東	埼 玉	(株)S t a r L i k e (代表取締役)
武田 陽	関 東	東 京	(株)ライトハウス (代表取締役)
財津 澄子	関 東	東 京	(株)京王興産 (代表取締役社長)
丹下 浩延	関 東	東 京	吾妻興業(株) (代表取締役)
中里 則彦	関 東	神奈川	(株)パークレーンズ (代表取締役)
瀧田 久徳	関 東	神奈川	タチバナボウル(株) (代表取締役)
里見 隆	東 海	静 岡	(株)グランドボウル (常務取締役)
黒川 賢蔵	東 海	愛 知	東海興業(株) (代表取締役社長)
安嶋 保	北 陸	富 山	(株)スカイボウル (顧問・支配人)
石原 君江	関 西	大 阪	パレ・フタバ(株) (経営企画室室長)
熊 和敏	中 国	岡 山	(株)谷口ホールディングス (代表取締役)
太田 英夫	四 国	香 川	オータックス(株) (代表取締役社長)
秀嶋 康成	九 州	福 岡	山一企業(株) (代表取締役社長)
藤元 良一	九 州	宮 崎	エースランド(株) (代表取締役社長)
米須 義明	沖 縄	沖 縄	(株)北谷スポーツセンター (代表取締役社長)
岡田 大明	会 員 代 表 者 以 外		公益社団法人日本ボウリング場協会 (専務理事・事務局長)
畔野 良昭	会 員 代 表 者 以 外		(公財) 大崎企業スポーツ事業研究助成財団 (情報交流・助成委員) 埼玉県狭山市ゴルフ協会 (理事)
石井 晃	会 員 代 表 者 以 外		社会福祉法人友愛十字会 (参与)
野川 春夫	会 員 代 表 者 以 外		順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 (特任教授)
小原 栄二	会 員 代 表 者 以 外		東京中日スポーツ (報道部 部次長)

(2) 名誉会長、顧問の委嘱

名誉会長及び顧問について、第31回 理事会で次のように推薦を決定し、中里会長より委嘱した。

- 名誉会長・三村 明夫 氏 (日本商工会議所・会頭)
- 顧 問・中野 啓二郎 氏 (元会長：株式会社イースタンスポーツ・代表取締役会長)
・池田 朝彦 氏 (前会長：東京レジャー株式会社・代表取締役会長)

9. 日本ボウリング機構 (略称：JBO) の設立及び活動

わが国ボウリング業界全8団体が一体となり、「ボウリング参加人口2000万人達成」「No. 1国民スポーツ＝ボウリング」の実現を目指し、新団体「日本ボウリング機構 (JBO)」を設立へ向け準備をした。日本ボウリング協会は、ボウリングの普及・振興を図るため、平成30年8月5日付で発足したこのJBOの活動に参画し活動をしている。

- | | | | | | |
|------|--------------|-------|-----------|---|-------------|
| (1) | 公益三団体懇談会 | 平成30年 | 4月26日(金) | 於 | 日場協内・会議室 |
| (2) | 公益三団体事務局会議 | 平成30年 | 5月11日(金) | 於 | 日場協内・会議室 |
| (3) | 公益三団体+NBF懇談会 | 〃 | 6月14日(木) | 於 | 〃 |
| (4) | 新団体事務局会議 | 〃 | 6月25日(月) | 於 | 〃 |
| (5) | 新団体構想説明会 | 〃 | 7月19日(木) | 於 | 〃 |
| (6) | 設立記者発表 | 〃 | 8月14日(火) | 於 | 日本スポーツマンクラブ |
| (7) | 事務局担当者会議 | 〃 | 9月12日(水) | 於 | 日場協内・会議室 |
| (8) | 参画団体代表者会議 | 〃 | 10月29日(月) | 於 | 〃 |
| (9) | 参画団体代表者会議 | 平成31年 | 1月23日(水) | 於 | 〃 |
| (10) | 運営委員会 | 〃 | 2月28日(木) | 於 | 〃 |
| (11) | 第1回理事会 | 〃 | 3月6日(水) | 於 | 仏教伝道センター会議室 |

10. 各団体との懇談会、他の開催

(1) (公社)日本プロボウリング協会との

「グリコセブンティーンアイス杯」についての懇談会

- 平成30年12月5日(水)・午後1時30分～ 於 日場協内・会議室

※日場協：中里会長、黒川事業委員長、武田(陽)業務執行理事、岡田専務理事・事務局長が出席

(2) 「グローバルボウリングトーナメント」打ち合わせ会議

ボウリングの発展に向け、ボウリング界が一体となり立ち上げた「グローバルボウリングトーナメント」の開催について、打ち合わせをすすめた。

- ①平成30年 4月 5日(木)・午後4時 ～ 於 日場協内・会議室
- ② 〃 6月26日(火)・午後4時 ～ 於 〃
- ③ 〃 8月 7日(火)・午後4時 ～ 於 〃
- ④ 〃 8月23日(木)・午後3時 ～ 於 新狭山グラウンドボウル
- ⑤ 〃 12月10日(月)・午後4時 ～ 於 日場協内・会議室
- ⑥平成31年 1月29日(火)・午後4時 ～ 於 〃
- ⑦ 〃 2月28日(木)・午後4時 ～ 於 〃

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長、伊藤職員が出席

- 「nanaco杯2018 グローバルボウリングトーナメント」の開催

9月 9日(日)・午前9時～ 於 新狭山グラウンドボウル(埼玉県)

11. ボウリング発祥記念碑の維持管理

日場協が任意団体から通算して創立25周年を期し、後世へこの史実を伝えていくため、平成2年6月22日に「ボウリング発祥記念碑」を長崎市内に建立し、長崎県ボウリング場

協会へその維持管理をお願いしている。

また、15年6月22日の“ボウリングの日”には、「社団法人化30周年」記念事業の一環として、「案内板及び柵」の設置・整備も行った。

- ・ 建立場所 長崎市所有「長崎市松が枝町駐車場」
- ・ 借地面積 6.6平方メートル
- ・ 使用契約 長崎市から1年間の土地使用許可を得、以後自動更新されている。

12. 表彰規程による表彰の実施

(1) 第6条・2号① 退任役員への功労賞

- ・ 国本 美加 (株)ダイガクコーポレーション・代表取締役社長)

(2) 第6条・2号④ 功労賞

- ・ 阿部 義定 (愛媛県 保内ボウル・支配人)

(1) 第6条5号・永年勤続賞の贈呈

- ・ 10年勤続者 10名
- ・ 20年勤続者 7名
- ・ 30年勤続者 1名

<合計 18名>

13. その他の組織団体への加盟・協調

(1) 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

多種多様なスポーツ・健康関係団体が加盟しており、協調や情報交換等を行っている。特に、スポーツ界全体の振興策や税制等について、他の会員団体と共同で調査・研究している。

尚、弊協会中野啓二郎顧問は名誉副会長を、また中里会長は理事を務めている。

<加盟団体・企業数> 35

(2) 東京商工会議所

- ・ ボウリング業界の更なる発展のため、平成8年11月に新規入会した。
- ・ BPAJ全国大会は、日本商工会議所の「後援」をいただくと共に、第32回大会(平成9年度)以降「日本商工会議所会頭杯争奪」と銘打ち開催されている。
- ・ 日本商工会議所・会頭である 三村 明夫 氏 に、前任の 岡村 正 氏 に引き続き26年2月より、弊協会の名誉会長を委嘱している。